

事業名	平成 29 年度域学連携人材育成事業	
活動形態	開催場所	輪島市
	活動人数	29 名
	期間	平成 30 年 1 月 26 日～27 日
活動概要	<p>「域学連携」において、地域住民と学生の交流促進だけでなく、成果として地域の課題解決や学生の地域定着指向を向上させるため、地域外から若手人材を地域で受け入れる職員のスキルアップを目的とする。課題解決プロジェクトにおいて成功確率を上げるため、全国の成功事例、失敗事例を知るとともに、実体験を踏まえ、具体の課題設定から解決プロセス設計、成果達成までをやり遂げるプロジェクト力や人材育成力について学び合う機会とした。</p> <p>&lt;成功確率を上げるための域学連携研修&gt;  日 程：平成 30 年 1 月 26 日（金）～27 日（土）  参加者：30 名（自治体職員、地域おこし協力隊、大学、金融機関関係者等）</p> <p>○ 奥能登チャレンジインターンシップの紹介  奥能登 2 市 2 町の受入担当者より、平成 29 年度のプロジェクトを踏まえ、課題の背景と取組、コーディネーターの必要性について報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『「輪島ふぐ」をブランド化するための徹底分析」  輪島市企画課里づくり推進室 上杉 英一 氏</li> <li>・「U・I ターン希望者に対する市内企業の魅力発信！」  珠洲市企画財政課 杉盛 啓明 氏</li> <li>・「移住者にとって魅力あるまちづくり」  穴水町政策調整課まち・ひと・しごと創生推進室 奥田 拓夢 氏</li> <li>・「町の仕事を、若者自身の言葉で中高生に伝える！」  能登町企画財政課地域戦略推進室 中 道紀 氏</li> </ul> <p>○ 講義①「事例に学ぶインターンシップ成功の方程式」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>域学連携における全国の成功例・失敗例を踏まえ、実践型インターンシップにおけるプロジェクト力、若者力、人材育成力のポイントを学ぶ。失敗事例に学ぶセッションでは、講師との対話形式で失敗の原因や対応策について読み解いた。</p> <p>○ プロジェクト設計ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーター：株式会社御祓川 代表取締役 森山 奈美 氏</li> </ul> <p>市町単位でグループを構成し、インターンシッププロジェクト設計に向けて、①課題設定、②仮説立て、③プロセス設計、④絞り込みを行う設計ワークショップを実施した。コーディネーターやグループ内のメンバーが質問を繰り返すことで、課題の認識、数値目標、ターゲット等をクリアにしていった。</p>	

○ 講義②「地域を本気にさせるコーディネーターの力」

・講師：株式会社熊野古道おわせ 支配人 伊東 将志 氏

地域住民、地域資源を巻き込んで課題解決プロジェクトを実践している成功事例から、地域を本気にさせるコーディネーターとしての想いや発想、プロジェクトの仕掛け等を学ぶ。また、域学連携におけるテクニカルな進め方や疑問点について講師と対話した。